

赤旗に白旗あげる自民党朝日新聞・川柳

宮城県本部  
顧問 庄司 捷彦  
会長 根本 京子  
副会長 横田 有史  
杉山 茂雅  
三浦 一敏  
事務局長 三島 隆司  
同次長 小野ともみ  
後藤 行男

女性部部長 大木れい子  
仙台支部会長 遠藤いく子  
塩釜支部会長 後藤 行男  
仙南支部会長 椎谷 照彦  
大崎支部会長 鹿股 輝雄  
石巻支部会長 三浦 一敏  
会計監査 川崎せつ子  
郷古 格治



県本部幹事

宮城版 415 号

2024 年 1 月

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

宮城県本部

〒980-0022

仙台市青葉区五橋

1-5-13 県労連会館

国民救援会気付

022-222-6458

すなお みちお  
徳永直・著『日本人サトウ』=佐藤三千夫の碑前祭  
記念碑建立40周年記念「**呑牛忌**」を開催



写真中央が、三千夫の甥の佐藤泰次さん

ロシアで「日本帝国主義のシベリア出兵  
反対」「ロシア革命擁護」の活動をしていた  
佐藤三千夫が二十二歳で没して、昨年で一  
〇〇年。彼の足跡をたたえ登米の水道山に  
記念碑が建立されてから四〇年を経まし  
た。十二月二十三日に、『2023年呑牛忌』  
が、佐藤三千夫記念会・主催、日本ユーラシ  
ア協会県連・後援で開催されました。緊急の  
呼びかけでしたが、国賠としてもチラシを  
発行、仙台・塩釜・石巻からも参加し、不戦  
の誓いを新たにしました。【二面に赤旗記事】

# 佐藤和歌子先生の講演・要旨(於「高橋とみ子墓前祭」) 戦前に、産児調整を指導した...

## 「産婆」多田ミトリの生涯



十一月二十六日(日) 高橋とみ子墓前祭の後、会場を仙台市民会館に移し、「墓前祭講演会」が開かれました。とみ子と親交のあった多田ミトリについて、

『戦前に産児調整を指導した「産婆」多田ミトリの生涯』と題し、聖和短期大学講師の佐藤和賀子さんがその生涯を丁寧に

お話ししてくださいました。講演の概要は以下のとおりです。

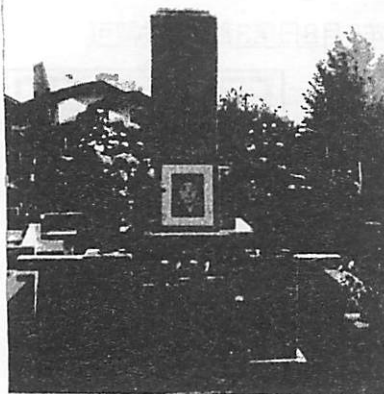
\* \* \*

### 1928年・仙台市公会堂で

### 労働党結成演説会・準備

多田ミトリは、1904年(明治37)に大船渡市三陸町に生まれ、実家の家業は船主で、経済的には豊かな家庭に育ちました。仙台的私立東華高等女学校

(現在の二華高等学校)、日本女子大学家政科に入学、父が亡くなったため実家に戻り、気仙郡広田村立小学校に勤務。従兄でもあった基一と結婚、翌年には長女も生まれ、穏やかな生活を営んでいま



した。基一は、「仙南日日新聞」

の気骨の記者で、1926年(大正14)12月15日特高の家宅搜索を受けます。(1925年3月衆議院議員選挙法改正になり男子の普通選挙が実現、同時に治安維持法が施行される。)1928年3・15事件で基一は逮捕されるが、すぐ釈放されています。

1928年(昭和3)12月15日、山本宣治来仙、労働党再建(3・15の弾圧によって解散させられた)に向けての新党結成演説会を仙台市公会堂で開催することになり、準備を進めていました。特高も演説会を阻止しようと警戒体制を強化し、東北本線下りの列車を警戒していましたが、宣治達は瀬峰まで行って上り電車に乗り換え仙台駅で下車、ままと官憲の目をかいくぐり仙台に到着したのでした。そしてミトリが首尾よく公会堂に長女をおんぶして入り込み、【3面に続く】

### 宮城 忌牛を忌



昭和28年、宮城県立市

シベリア出兵(1918~25年)時にロシア東部で日本兵へ戦争の中止と帰国を呼びかけ、22歳で亡くなった宮城県登米(とよま)市登米(とよま)町出身の佐藤三千夫(1900~22年)を追悼する忌牛忌(どんぎゅうぎ)が23日、同市の顕彰碑前でありました。三千夫の反戦平和のたたかいは、作家・徳永直(すなお)の実録小説「日本人サトウ」で描かれていま

す。忌牛忌では、徳永と盟友たちが天皇制政府の弾圧と統制での苦難を強いられたことや、それでも絶えることのなかった交流について、初公開の徳永直書簡や当時の資料によって報告されました。佐藤三千夫のおい・泰次氏、登米市の鈴木実、工藤淳子両市議、横田有史元宮城県議ら10人が参加しました。

【12月28日・赤旗・全国面】

電気をつけて開会を宣言し、演説会を開催したということでした。その後基一さんは、1929年(昭和4)4・16事件で検挙、この時はミトリも長女共々連行され、長女が一人帰され、坂家に預けられたといひます(ミトリは、数日で釈放)。

### 布施辰治・坂猶興の支援で

### 産児相談所・産婆を開設

基一が獄中にあり、経済的に自立する必要があり、布施達治弁護士から医師間島岡を紹介され、産児調整指導員になる講習を受けたいといひます。まだ「産婆」の資格がない中で、「愛児女性協会仙台支部(産児調節相談所)」を開設し、下級サラリーマン・労働者・失業者の相談にかかわっています。そして産婆学校に通う学費は坂猶興先生から援助を受け、様々な障害をはねのけ、産婆を開業。この時産婆の器具のお世話をし

たのは鈴木保先生(厚生協会の初代理事長・乳銀杏保育園創設者)だったといひます。県内農民組合を回り、無計画な出産による「貧乏人の子だくさん」は、母親の健康を損ねることを説くなど産児調整の啓蒙活動を行いました。「産めよ増やせよ」の時代、産児制限は国策に反したので、たびたび検挙されたといひます。ミトリはこうした産婆の活動をぬつて、

治安維持法で逮捕された人たちに差し入れや手紙で支援、戦前の赤色救援会(現在の国民救援会)の合法的な活動家としても知られています。佐藤和賀子さんは、ミトリがなぜ経済的自立の手段に産婆を選んだのかということでは、①ミトリの兄弟が乳児期に亡くなっている(その当時の日本は乳幼児死亡率が高かった)、②15歳の時に母が産褥熱で死去

③産婆学校に通って産婆の職業を選んだ従妹(夫喜一の妹)がいたということなどを挙げておられました。私は、山本宣治の影響もあったのではと思ったことでした。また、治安維持法での弾圧下、坂猶興先生をはじめ当時の活動家たちが物心両面で励まし合っていたこともわかり、温かいものを感じたお話しでした。

(小野ともみ・記)

2023/12/25

## 国賠同盟女性部、仙台支部\*\*\*\*\* 第38回「近現代史」学習会(最終回)

12月25日(月)サポートセンターで2時から10名の参加で行われました。本の「近現代史学習」は11月で終了したため、今回は、今、世界で最も話題になっているパレスチナとイスラエルの紛争について学習しました。【学習会の内容は6ページに掲載】

約3年間、38回に及ぶ「日本近現代史を読む」(新日本出版)を終え、次回から、新しいテーマを協議、確認して行います。新しい方も、ぜひご参加下さい。

○次回・2月26日(月)2時

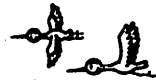
於・仙台市サポートセンター

○「弾圧と闘った宮城の女性たち」

## 学習

# パレスチナとイスラエル

## その歴史・紛争について



### 紛争の背景とは

#### どこにあるのか？

これについては、パレスチナ地方というひとつの土地に2つの民族（ユダヤ人とアラブ人）が共存できるかということに尽きる。

ユダヤ教とキリスト教とイスラム教の関係については、3つとも「神」は同一の一神教である。3つとも偶像礼拝を禁じている。

パレスチナとイスラエル対立の原点と経過については、シオニスト運動と第一次世界大戦によるバルフォア宣言が今も続くパレスチナ紛争の原点である。パレスチナ紛争の解決と和平のためには、イスラエルの占領地からの撤退、両者の生存権の相互承認が大事である。

#### 他の資料（新聞、赤旗）から

欧米諸国はパレスチナ自治政府への資金を止めようとハマスを弾圧するようにファタハをけしかけたが、ファタハは敗北してヨルダン川西岸地区に逃げ込んだ。そこでヨルダン川西岸地区の「自治政府」はファタハ、ガザ地区のハマスという今回の構図ができた。そのすぐ後に07年イスラエルはガザ地区を封鎖した。イスラエルはあからさまな戦争犯罪を繰り返しており、人道に対する犯罪やジェノサイドの疑いのある行動をとっている。

#### 参加者の感想として……

\* いまの状況は、事実上、ハマスとファタハが支配しているの

か？ 実際はどうなのか？

\* ハマスは「極左集団」とか、

「暴力集団」と言われているが今のマスコミの報道はハマスの知らせ方も問題。ハマスはテロ集団でも何でもない。

\* 今日の日本の捉え方は、ユダヤ

集団に事実上支配されているアメリカ寄りになっている。

\* イスラエルは約束を守らない。

横暴なイスラエルは許せない。

\* 同じ神を信じている宗教なのにぶつかり争いになる。政教分離

されていない。創価学会、統一教会等も同じ様だ。（文責：村主）

## 緊急のお知らせ！

### 「石巻博物館」で実施中の 布施辰治展・第2部

3月3日まで延長です。  
是非、ご覧ください……  
（後藤行男さん情報です）

## 坂 猶興・墓前祭のご案内

日時 2024年2月26日(月)午前11時

会場 仙台市北山日浄寺(北山駅から徒歩4分)

主催 治安維持法同盟・塩釜支部

### さか 猶興先生の主な経歴

1903年(仙台・生)―1957年(逝去)

\* 東北帝大社研・社会医学研究会(解散)

\* 雄勝医療組合病院、坂病院開業・院長

\* 塩釜市議3期、民医連東北・宮城会長

\* 農民組合・救援会・消費組合など多数

仙台市長 郡 和子 様

令和5年11月7日

要望書

みやぎ憲法九条の会

資福寺にある「千葉卓三郎記念碑」について

仙台市・資福寺（青葉区北山1丁目13番1号）に「千葉卓三郎記念碑」が1979年、同寺の千葉家の墓所に建立されました。

千葉卓三郎は「五日市憲法草案」の起草者であり、その冒頭には「陸陽 仙台千葉卓三郎草」と記載がある通り、仙台と深いつながりがあります。この碑の建立にあたっては故島野武元仙台市長が尽力されました。

いま、7個の碑が千葉家の墓じまいによって、今後どうなるのか、大変憂慮される事態に至っております。

五日市憲法は憲法学者・稲田正次氏が指摘しているように「国民の権利に関する条文は、第二・三・五編にわたって150余もあり、民権の村長に特段の配慮をしていることは注目すべきであり、ほかの私擬憲法には全く類例を見ないところでもある」と高い評価をしています。（「明治憲法成立史の研究」1979）

日本近代国家の創生期に国民の権利を掲げた歴史的にも貴重な「千葉卓三郎記念碑」の保存に仙台市のご尽力をお願いし、要望いたします。

千葉卓三郎の墓じまいの現場を調

## 五日市憲法草案

### 起草者・千葉卓三郎の「墓じまい」問題…… 「みやぎ9条の会」が仙台市長に申し入れ

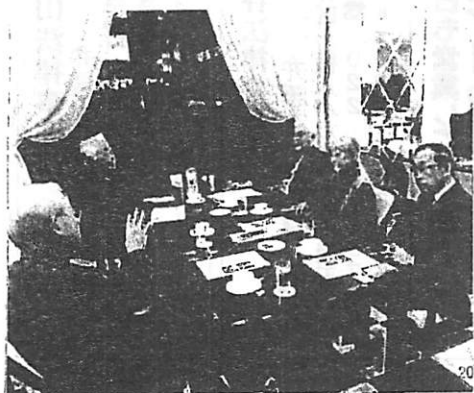
昨年（2023年）の12月3日に、あきる野市の鈴木富雄氏、志波姫町の鈴木道夫氏と宮城県国賠の3者で、北山・資福寺の「千

査し住職とも話しました。その後、全国的にも話題となる中、当時の島野武元仙台市長が呼びかけて、国内3カ所同時に、同じ記念碑が建立された経過も含む文書を作成し、昨年（2023年）の5月18日に「9条の

会」として仙台市に対する申し入れの検討を要請。その結果、11月7日に、村上市議の立ち合いで

### 関係6団体 初の相談会を開催

千葉卓三郎没後一四〇年記念講演会」が十一月十三日、新井勝紘先生を講師に二〇



〇名の参加で開催されました。田中克人氏（心のふるさと創生会議理事長）を中心に四名の呼びかけで開催され、その場での板垣氏との話し合いで相談会の開催が呼びかけられました。十二月十四日の当日は呼びかけ人の田中氏、板垣氏、他、永沢汪恭氏と外山真理氏、横田国賠会長と志波姫の鈴木道夫氏の合計6名が参加。熱心な意見交換が行われ、2回目の相談会の早期実施を確認しました。

「9条の会」の板垣乙未生事務局長と須藤道子氏が浅野秘書課長に要望書を提出。\*行政として何ができるか。\*あきる野市、栗原市のサポートの状況\*資福寺の対応などを調査の上、再度話し合うことになっています。改めて、大きな世論と運動が大切です。

# 迎春



公益財団法人・宮城厚生協会

泉病院

院長 長谷部 誠

仙台市泉区長谷部二、一、一

☎022・378・5361

杉山法律事務所

弁護士 杉山 茂雅

青森区大町一、五、一〇（旧代田ビル）二〇三

☎022・716・9555

Fax 022・215・1510

宮城厚生協会

中新田民主医院

加美町字矢越 345

☎0229・63・2156

宮城県医療労働組合連合会

執行委員長 遠藤 麻由

仙台市宮城野区萩原町二、二七

アメニティ萩野町一〇一

☎022・782・0633

安全安心の医療・介護実現のため

医療・介護従事者を

大幅に増やそう！

宮城県教職員組合

仙台市青葉区柏木一、二、四五

フォレスト仙台

☎022・234・0141

全医労東北地方協議会

議長 佐藤 一哉

仙台市宮城野区宮城野一、二六、一

☎022・295・7393

公益財団法人・宮城厚生協会

長町病院

院長 水尻 強志

仙台市太白区長町三、七、二六

☎022・378・5361

公益財団法人・宮城厚生協会  
仙台錦町診療所・産業医学健診センター  
所長 齋藤 慶史  
仙台市青葉区上杉三、二、二八  
アクセス上杉ビル3F  
☎022・222・7997

公益法人・宮城厚生協会

若林クリニック

仙台市若林区下飯田字遠谷地一七四

☎022・289・8588

Fax 022・289・8666

一般社団法人みやぎ保険企画

代表理事 荒井 正実

仙台市太白区長町四、三、二六

☎022・747・7505

仙台北民主商工会

会長 三戸部 尚一

仙台市青葉区台原三、一八、六

☎022・727・6401

仙台中央税理士法人

税理士 竹田 久

仙台市青葉区一番町335

☎022・261・0350

水谷法律事務所

弁護士 水谷 英夫

若林区土樋八バールメゾン土樋五〇八

☎022・267・3759

Fax 022・267・3780

士・日も営業しています！

新野自動車株式会社

仙台市太白区中田町字杉の下、一

☎022・242・3111

婦人民主クラブ

宮城県支部協議会

仙台市青葉区五橋一、五、一三

☎・Fax 022・221・9811

有限会社現代印刷出版

代表取締役 三戸部 尚一

仙台市若林区鶴代町四、三三

☎022・349・8801

宮城県民主医療機関労働組合

中新田民主医院分会

加美町字矢越 345

☎0229・63・2156

宮城厚生協会

くりこまクリニック

栗原市栗駒岩ヶ崎上小路 153

☎0228・45・2128

くりはら健康福祉友の会

栗原市栗駒岩ヶ崎上小路 153

☎0229・23・7433

教え子を再び 戦場に送るな！

宮教組 古川・栗原支部

大崎市古川駅前大通151・33

☎0229・23・7433

古川農民組合

委員長 鎌内満穂

大崎市古川湖尻字大見 181

☎0229・27・2837

宮城縣農民運動連合会

大崎市古川湖尻字大見 181

☎0229・27・2837

日本共産党北部地区委員会

大崎市古川荒川小金町3・36・1  
☎0229・22・1252

古川民主商工会

大崎市駅東2・4・10  
☎0229・23・3317

健康で長生き

大崎健康福祉友の会

大崎市古川駅東2・1・14  
☎0229・23・8089

宮城厚生協会

古川民主病院

大崎市古川駅東2・1・14  
☎0229・23・5521

全日本建設交通一般労働組合

宮城農林支部

大崎市古川小泉字泉26・31・4  
☎0229・23・8317

大崎地方労働組合総連合

大崎市古川駅東2・12・18  
☎0229・23・5521

宮城県民主医療機関労働組合  
古川民主病院分会

大崎市古川駅東2・11・4  
☎0229・23・5521

公益財団法人

宮城厚生協会

坂総合病院

院長 富山陽介

☎022・365・5175

看護師募集

みやぎ保健企画

つばさ薬局

多賀城市下馬2・13・15  
☎022・366・8001

宮城民主医療機関労働組合

坂総合病院分会

分会長 中川恵介

塩釜錦町16・5

☎022・364・9549

憲法生かして

医療・介護を守ろう！

宮城民医連

事業協同組合

薬品・医療材・医療機器販売

病院売店・駐車場管理

多賀城市下馬1丁目10・6  
☎022・361・5674

日本共産党塩釜地区委員会

塩釜市旭町6・11

☎022・364・3222

塩釜生活と健康を守る会

会長 虎川 太郎

塩釜市錦町17・6  
☎022・366・0490

塩釜民主商工会

中小業者のなんでも相談所

塩釜市西玉川町11・28  
☎022・366・6288

石巻民主商工会

中小業者のなんでも相談所

石巻市東中里1丁目5・11  
☎0225・96・2330

庄司・松浦法律事務所

石巻市泉町4・11・20

☎0225・96・5131

日本共産党東部地区委員会

石巻市南中里4丁目5・14

☎0225・22・6335

名取巨理民主商工会

税金・保険料の相談も民商へ

岩沼市桑原3丁目1・33  
☎0223・24・2543

仙南民主商工会

中小業者の何でも相談所

柴田郡柴田町西船迫1・8・6  
☎0224・55・3267

国民救援会仙南支部

今野住建

名取市飯野坂5・4・20

☎022・382・1450

# 栗原市 大林寺

あんじゅんぐん

とうしち

## 『安重根と千葉十七』碑前祭の再開へ！

### 「栗原九条の会」との相談会を開催！！

栗原市若柳町・大林寺におけ『安重根と千葉十七』の碑前祭が、コロナと大林寺の齋藤泰彦住職（87歳）の病のため、この数年間開催されていません。再開を求める声が各地から聞こえる中、12月



23日に「栗原九条の会」と「宮城国賠同盟」による相談会が、地元議員を含めて行われました。県同盟の幹事を務めている栗原の佐藤克美氏の仲介により、当日は、9条の会会長の門傳仁氏の事務所（二迫町）に、同会長と副会長の鈴木健三先生、地元議員として菅原勇喜栗原市会議員（熊谷義彦県会議員は急用で欠席）、国賠同盟からは横田会長、三島事務局長、後藤事務局次長他二名と9名が参加しました。

横田会長は、20年2月の「サンデー毎日」のトップ記事で、ジャーナリストの安田浩一が書いた『歴史破壊』とこの国の絶望』



村井知事が「大林寺への看板5枚を撤去した問題を糾弾」した4ページの記事Ⅱのコピーを渡し、看板の再建はもとより、真の日韓友好のためにも、当時の山本壮一

郎宮城県知事の手で建立された「安重根と千葉十七」碑前祭の再開は今日的に極めて重要であると、相談会の趣旨を述べました。菅原議員からは、「碑前祭」は齋藤住職と檀家の協力により開催されてきたが、「総理大臣を殺した人間をなぜ？」との雰囲気は大きく、「地元で参加して議員は事実上、自分だけ」などという地域状況や齋藤住職の現況なども率直に出されました。

### 2月末に「安重根」学習会 9月に「碑前祭」開催へ！

約2時間に及ぶ熱心な協議の結果、国賠同盟が呼びかける形で、広範な実行委員会を立ち上げ、9月には「碑前祭」を開催できるよう努力すること。そのためにも、田植え前の2月下旬ころに、栗原・若柳で「安重根」に関する学習会を広く呼び掛けて開催すること、などが確認されました。（横田・記）

# 第7回 坂猶興墓前祭のご案内

平和、人権、医療を  
民衆とともに歩み  
求めた医師

(厚生協会だよりから)



2月26日は坂総合病院2代目院長・坂猶興(さかなおき)医師の命日です。国賠塩釜支部は毎年この日に墓前祭を開催し、今年で7回目となります。

猶興医師は1912年に叔父坂定義が開設した「私立塩釜病院」を1937年に引き継ぎ「坂病院」としました。

猶興は、戦前から、人権尊重、民衆のための医療、平和・民主主義を追求した医師でした。しかし、労働者・農民に奉仕しようとする医療活動は、治安維持法による戦争推進体制のもとでは、弾圧の対象となり2回逮捕、特高警察による激しい拷問を受け、懲役2年・執行猶予5年の刑を科せられました。

戦後直ちに日本共産党に入党。1945年12月に日本共産党宮城県地方委員会結成会議を坂病院2階会議室で開催するなど宮城県の民主運動の礎を築きました。1946年の総選挙に立候補し落選しましたが翌年の塩竈市議選では2位当選し、医師を続けながら三期市議を務めました。1949年に宮城厚生協会を設立、1954年のビキニ水爆実験事件の際には塩釜公民館で「東北平和大会」を開催しました。1957年に急逝しましたが、2年後に世界平和評議会から「世界平和賞銀メダル」が授与されています。

憲法に基づく平和を投げ捨て軍事国家に突き進む今、坂猶興先生の生きざまから学ぶことは多いのではないのでしょうか。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 開催ご案内

とき：2月26日(月)

時間：午前11時～

場所：仙台市 日浄寺にて

仙台市青葉区堤町2丁目2番1号



第6回墓前祭より

主催：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟・塩釜支部

連絡先(後藤行男)090-9423-0135